

① 2018 リスクセンスフォーラム報告
(2019年3月9日 東大弥生講堂内で開催)

② リスクセンスシステム研究の進め方について

2019年4月18日
リスクセンス推進研究会

東洋合成工業社の活動と リスクセンス研究会組織診断11項目との対比

| | 11評価項目 | 有無 | |
|----|--------|----|---|
| L1 | リスク管理 | ○ | 該当する東洋合成工業社の活動 * 3.11震災以前からリスクマネジメント及びBCP作成に取り組 み、3.11や自然災害に大きな混乱を回避。その後BCMS構築 し、全社を挙げて取り組み顧客の信頼回復 * OSHMSに則りリスクアセスメントを実施 |
| L2 | 学習態度 | ○ | * 過去の事故例をデータベース化し活用 * 事故発生時の原因究明、対策立案・実施、結果の確認、他部署 への水平展開がきちんとされている。事故件数減少中。 |
| L3 | 教育・研修 | ○ | * 求める人材像の育成を目指し教育研修体系構築 * 社員が自ら調査・企画し他の社員に安全教育する「安全啓発活 動」はユニークで教育効果大 |

2019.3.9



梅里 泰正 様
 一般社団法人 デレクティブフォーラム
 代表取締役社長
 梅里 泰正 様



1. リスクセンスフォーラムの報告

A 事故・クレームは、個人のヒューマンエラーにより発生。この防止のために、効果のあった活動を推進する企業の表彰

①個人のスキルアップによるエラー削減活動

安全工学グループ：“安全・体感”に関する教育・研修の普及を目指す

(⇒ GSEF顕彰 Good Safety Education Facilityの略)

②組織の健全化による、個人のエラーを減らすリスクセンス向上活動

(⇒ GRSA顕彰 Good Risk Sense Awardの略)

B リスクセンス研究会の活動報告と意見交換

①2018年度のリスクセンス向上活動

②横浜国大との共同研究；「簡便なリスクマネジメント手法の開発」

③オフィス分野のリスクセンス向上活動

DFのご支援により、経験者としてのご意見も頂けた。

主なトピックス

- ① GRSA 顕彰企業(東洋合成工業株(ジャスダック上場))より、受賞講演の中で、同社の安全施策の進捗度を定量的に把握し推進すべく、リスクセンス検定®を活用するとのPR有
- ②品質不祥事があった企業の関係部署(品質統括部、コーポレートコミュニケーション部)の担当者が参加。同社では、現在 推進中の再発防止対策の進捗度を簡便にリスクセンス診断で**定量的に把握できるとの情報**を入手し、目標とする組織運営の状態を早期に実現すべく、リスクセンス検定®を活用することを決定。第1弾 4月22日(月)午後 実施予定(本社で品質担当役員以下、担当部署のスタッフ19名が受検予定)

2: リスクセンスシステム採用推進について

リスクセンスシステムによって、社会で生じている各種の不祥事、事故・クレームを減らしたい。

その為に、対外的に講習会を開催する。

* 次回の技術部会において、リスクセンスシステムの
効能を説明し、企業経験者である、DFメンバーのご
意見をお伺いしたい。

* 好ましい 説明内容を決定し、社会への普及を図る。